

AIエッジコンピューティングによる高度IoT社会の実現

近年、ディープラーニングに代表されるAI技術やセンサー技術、5Gをはじめとするネットワークの進化により、IoTとAIの組み合わせによる社会課題の解決が期待されています。その一方で、爆発的に増えるIoTによってネットワーク、クラウドコンピューターへの負荷が増大し、さらにはIoTを標的としたセキュリティへの脅威が拡大しています。そのため、クラウドを介さない即時応答性やネットワークへの負荷を分散すること、そのうえで高信頼性を確保することが課題として顕在化してきました。

OKIIは、「社会インフラ×IoT」によりさまざまな社会課題を解決するため、60社を超える共創パートナーと数多くのPoC (Proof of Concept: 評価・検証) を重ね、交通、建設/インフラ、防災、金融・流通、製造、海洋の注力分野で、デジタル変革に取り組んできました。

その成果のひとつとして、2019年度よりエッジ領域 (IoTのデータが発生する現場) でAI技術を適用した、エッジコン

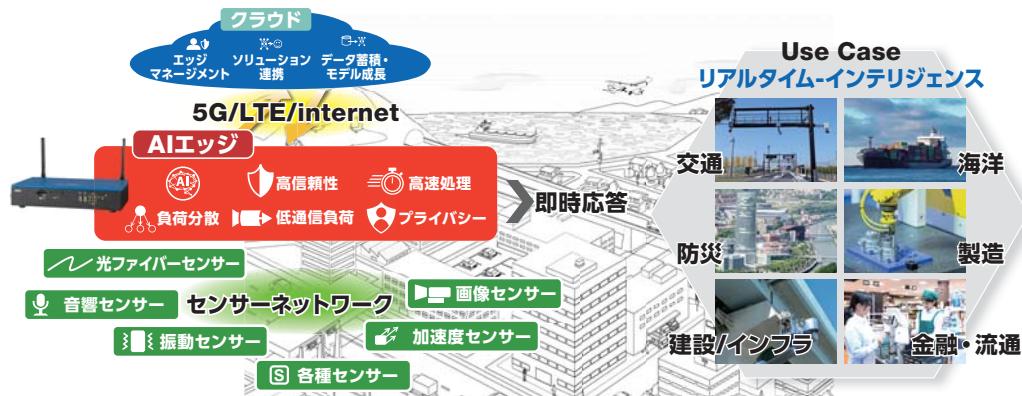
ピューティングへの取り組みを推進しています。そして主力商品となるAIエッジコンピューター「AE2100」を、インテル株式会社、日本マイクロソフト株式会社の両社を戦略パートナーとして、2019年10月より販売開始しました。これは、OKIIのIoTビジネスプラットフォーム商品群を大幅に強化するものです。

「AE2100」はAI-Ready、IoT-Ready、Security-Readyの3つの「Ready」を特長とし、社会インフラに要求される過酷な屋外設置環境でも動作可能な耐環境性を備えています。

OKIIは、従来提供してきたIoTビジネスプラットフォームを整備し、AIアプリケーションと各種センサーを組み合わせたAIソリューションを提供していきます。さらに、さまざまなパートナーとともに「AIエッジパートナーシップ」をエコシステム*として構築し、ソリューションの創出や事業機会の獲得を推進していきます。

*エコシステム: 企業や顧客などパートナー間の、分業と協業による共存共栄の関係

■AIエッジコンピューティング・コンセプト



「AIエッジコンピューティング」の詳細はこちらから